

建設関係団体等の意見聴取について（案）

令和 7 年 7 月 8 日

1 意見聴取の目的

○ 意見聴取の目的

建設関係団体や事業者の意見等を聴取することにより、入札・契約制度の課題を把握するとともに、今後の入札・契約制度の改善に資することを目的とする。

【根拠】 福島県入札制度等監視委員会規則第 5 条第 5 項

委員会は、必要があると認めるときは、議事に係る関係者又は専門的知識を有する者に対し、会議への出席を求めて意見若しくは説明を聴き、又は必要な書類の提出を求めることができる。

2 意見聴取の対象者及び方法

○ 建設関係団体

意見を聴取する団体	意見聴取の方法
一般社団法人福島県建設業協会	ヒアリング形式（1 団体あたり 20 分程度）
福島県総合設備協会	
福島県建設専門工事業団体連合会	
福島県土木建築調査設計団体協議会	

○ 個別事業者

テーマ等を踏まえ、ヒアリング形式で 1 ～ 2 者選定し意見を聴取する。

3 意見聴取のテーマ

○ 各委員に意見聴取のテーマを照会し定める。

4 スケジュール（想定）

- ・ 意見聴取のテーマ調整（7 月上旬～8 月中旬）
- ・ 建設関係団体等への意見聴取の協力依頼（8 月下旬）
- ・ 建設関係団体等からの意見提出（9 月下旬）
- ・ 建設関係団体等からの意見聴取（11 月）

【参考】建設関係団体について

（１）一般社団法人福島県建設業協会

県内の土木工事業、建築工事業に関わる事業者（元請となることが多い）で構成されている協会。

建設技術の研鑽や経営改善及び社会貢献等を推進して建設業界の健全なる発展向上を図り、もって、福島県内の産業の伸展や建設行政等に寄与することを目的としている。

（２）福島県総合設備協会

県内の電気設備工事業や空調衛生工事業に関わる事業者（元請となることが多い）で構成する団体。

経営の合理化や技術の研鑽を図ること等を通して、会員の資質向上活動を推進し、電気設備工事及び空調衛生工事産業の健全なる発展及び地域社会の福祉の増進に寄与することを目的としている。

（３）福島県建設専門工事業団体連合会

県内の建材や法面、型枠、建具等の専門工事に関わる事業者（下請となることが多い）で構成されている連合会。

建設専門工事に関する技術者・技能職人の確保・育成に努め健全な専門工事業の展開を図ることを目的としている。

（４）福島県土木建築調査設計団体協議会

県内の測量、建築設計、土木設計、調査等に関わる建設コンサルタント等の協会や組合等の団体で構成する協議会。

【参考】令和6年度の意見聴取項目

第1 入札・契約制度に関する課題

1 入札・契約制度全般

- ・ 県の入札・契約制度全般について、日頃感じていることや課題と捉えていることについて

2 総合評価方式

- ・ 総合評価方式の評価項目や配点、評価基準等についての意見

3 地域の守り手育成型方式

- ・ 地域の守り手育成型方式の課題と捉えていることや意見

4 プロポーザル方式やデザインビルド方式

- ・ 業務委託等に関するプロポーザル方式等を採用することについての意見

第2 建設業界を取り巻く社会情勢や課題

1 働き方改革の取組状況

- ・ 長時間労働の是正や多様で柔軟な働き方の実現に向けた取組みについて

2 技術者の高齢化や労働者不足

- ・ 今後、技術者の高齢化や労働力不足が見込まれる中、技術者や労働者の確保に向けた取組みについて

3 新技術の活用

- ・ 作業の効率化等への対応として新技術の活用が進められておりますが、貴協会の取組等について

4 元請け・下請け契約の課題

- ・ 専門工事業の法定福利費の計上、適正な工期の確保、適切な変更契約等において、元請けと下請けの契約に関する課題等について

5 若手技術者や女性技術者採用の取組

- ・ 若手技術者や女性技術者の人材確保に向けた取組について

第3 その他

1 災害発生に対する備えや対応等の取組について

2 資材の高騰や材料調達に時間がかかることへの対応について

3 建設業における技術者の高齢化や担い手不足を踏まえた事業継続や技術の継承への取組について

4 コンサルタントにおける技術力向上への取組について

事 務 連 絡
令和 7 年 7 月 8 日

福島県入札制度等監視委員会委員 様

福島県入札制度等監視委員会事務局
(福島県入札監理課)

建設団体等の意見聴取にあたってのテーマについて（照会）

このことについて、11月に予定している建設団体等の意見聴取の参考としたいので、
下記により建設団体等から聴取したいテーマを回答願います。

記

1 回答方法

それぞれの建設団体等に聴取したいテーマ（内容）を別紙に記入し、電子メール又は
FAXで事務局へ回答してください。

なお、別紙には、団体ごとに入札・契約に関わる課題や取り巻く社会状況など事務局
として考えられるテーマを記載しましたので参考にして下さい。

2 回答先

- ・ 宛 先 : 福島県入札監理課 鈴木主幹宛
- ・ 電子メール : zaimu_nyusatsu@pref.fukushima.lg.jp
- ・ FAX : 024-521-9727

3 回答期限

- ・ 令和7年7月31日（木）

4 今後のスケジュール（案）

- ・ 8月上旬 建設団体等へ意見聴取するテーマ事務局（案）作成、各委員へ確認決定
- ・ 8月下旬 建設団体等へ意見聴取への協力と資料作成を依頼

（事務担当 入札監理課 主幹 鈴木 電話 024-521-7889）

建設団体等への意見聴取テーマについて

委員名：

1 一般社団法人福島県建設業協会

○ 聴取したいテーマ（内容）をご記入願います。

・

・

【参考（入札・契約に関わる課題や取り巻く社会状況等）】

- （１）入札・契約制度に関する課題について
 - 全般 ○総合評価方式 ○地域の守り手育成型方式 ○一抜け方式・一括審査方式
- （２）働き方改革の取組について（週休二日や長時間労働の是正等）
- （３）技術者の高齢化や労働者不足について（熟練技術者等の雇用継続、若手・女性技術者の採用と定着、CCUS、技術の研鑽等）
- （４）建設DX・新技術の活用について（３次元データ・情報通信技術の活用による生産性向上等）
- （５）頻発する自然災害（豪雨・豪雪）の備えについて

2 福島県総合設備協会

○ 聴取したいテーマ（内容）をご記入願います。

・

・

【参考（入札・契約に関わる課題や取り巻く社会状況等）】

- （１）入札・契約制度に関する課題について
 - 全般 ○総合評価方式 ○地域の守り手育成型方式 ○一抜け方式・一括審査方式
- （２）働き方改革の取組について（週休二日や長時間労働の是正、関連工事との調整等）
- （３）技術者の高齢化や労働者不足について（熟練技術者等の雇用継続、若手・女性技術者の採用と定着、CCUS、技術の研鑽等）
- （４）建設DX・新技術の活用について（３次元データ・情報通信技術の活用による生産性向上等）

3 福島県建設専門工事業団体連合会

○ 聴取したいテーマ（内容）をご記入願います。

・
・

【参考（入札・契約に関わる課題や取り巻く社会状況等）】

- （１）入札・契約制度に関する課題について
- （２）働き方改革の取組について（週休二日や長時間労働の是正等）
- （３）技術者・技能者の高齢化や労働者不足について（福利厚生の現状、賃金上昇への対応、CCUS等）
- （４）元請・下請契約の課題について（法定福利費の計上、適正価格・適正工期の確保、適切な変更契約等）

4 福島県土木建築調査設計団体協議会

○ 聴取したいテーマ（内容）をご記入願います。

・
・

【参考（入札・契約に関わる課題や取り巻く社会状況等）】

- （１）入札・契約制度に関する課題について
○総合評価方式 ○指名競争入札方式 等
- （２）コンサルタントとしての技術力向上に向けた取組について
- （３）技術者・技能者の高齢化や労働者不足について（若手・女性技術者の採用と定着等）
- （４）建設DXの取組について（３次元データの活用、BIM/CIM等）
- （５）頻発する自然災害への対応について

5 個別事業者への聴取（意見聴取したい業種等についても記載願います。）

○ 意見聴取したい業種（例：一般土木・設備の種別、元請・下請の別、工事関係者・設計関係者の別等）

・

○ 聴取したいテーマ（内容）をご記入願います。

・

【参考（入札・契約に関わる課題や取り巻く社会状況等）】

- （１）入札・契約制度に関する課題について
○全般 ○総合評価方式 ○地域の守り手育成型方式 ○一抜け方式・一括審査方式
- （２）働き方改革の取組について（週休二日や長時間労働の是正等）
- （３）技術者の高齢化や労働者不足について（熟練技術者等の雇用継続、若手・女性技術者の採用と定着、CCUS、技術の研鑽等）
- （４）建設DX・新技術の活用について（３次元データ・情報通信技術の活用による生産性向上等）